

2010年度 エコツアー in 長谷

事務局 (インターン生/田邊千英、室屋孟門)

9月25日、26日と今年で10回目となるエコツアーが長野県伊那市長谷で行われました。今回は会員・外部の方・事務局を合わせて17名の参加がありました。当日は台風が接近しており、雨が心配されましたが、幸運にも天候に恵まれ、長谷の自然や文化に触れることができました。

〈1日目〉

一日目は、中尾座にて着替えを済ませると早速、稲刈りへ向かいました。台風の影響で天候が心配されましたが、長谷の空にはすがすがしい青空が広がりました。トラックの荷台に乗って中村田んぼに向かうと、猛暑の影響で茎が折れんばかりに稲穂が実り、その間をトンボが飛び交い、秋の訪れを感じました。

中村さんからレクチャーを受けて、いざ刈り取り作業に。初めて稲刈りを体験する方は、ざくざくと稲を刈る触感の心地よさを楽しんでいました。常連の方はとてもすばやく稲を刈り取っており、まるで農家さながらでした。

稲刈りを終えて中尾座に帰る途中、中村さんから尹良親王碑の前で歌舞伎のもととなった歴史の話がうかがえました。また、中尾座では、かつらや小道具、回り舞台など歌舞伎の舞台裏を見せていただきました。

そして、古道・秋葉街道の散策へ。小川を丸太で渡ったり、ロープを伝いながら細い道を通ったりと、長谷の自然を満喫しながらの散策でした。また、白衣観音や孝行猿の話など長谷の歴史や文



化にも触れました。

入野谷で温泉につかり、疲れをほぐしたあとは、長谷の方々を交えて懇親会を行いました。懇親会では、長谷総合支所長の中山さんに長谷で古くから愛唱されているざんざ節を、中村さんに歌舞伎の口上を披露していただきました。

懇親会の中締め後は星を見に外へ。都会ではなかなか見る機会の無い星空に参加者全員、ゆったりとした時間を過ごしました。

〈2日目〉

二日目は、朝から中尾座でミニワークショップを行いました。今年のミニワークショップのテーマは「環境文明社会」における「利他」についてでした(詳しくは後述)。

ミニワークショップのあとは、郷土料理の調理体験に。食文化研究会の小松さんや現地スタッフの方々から指導を受けながら、最後の仕上げを参加者全員で行いました。12時前には料理が完成し、お焼きや豚汁、漬物など長谷の新鮮な野菜を使った料理が食卓に並びました。素朴で懐かしい味わいに、参加者全員、舌鼓を打ちました。

昼食後は、長谷に古くから伝わるざんざ節を小松さんに教わりながら参加者全員で輪になって踊りました。その他にもきんにょんにょなどを踊り、身体を動かして長谷の伝統文化を感じました。

ざんざ節を踊った後に、まだ時間の余裕があったので、中村さんに歌舞伎の口上を教えていただいたり、歌舞伎のワンシーンを披露していただいたりしました。

